

第2回 「となりのお節介さん」 部会 議事要旨

令和6年7月9日（火）

午後6時30分～8時30分

西淀川区在宅サービスセンター3階 第1・第2会議室

【出席者】（敬称略）

部会員 3名

区役所 岡地

区社協 安井、大山、原田、久保

1) 推薦者なしのため認定会は開催しない

2) ボラエキについて

- ボラエキ当日の参加者は665名
- お節介さんがいる地域にタコルプシールを貼り、お節介さんマップを作成しパネルに貼った。お節介さんの活動場所が可視化され、わかりやすかった。
- お節介さんの認定者は、来所されていなかった。
- タコルプの被りものが目立っており、参加者の目を引き周知できていた。
お節介さんマップという、良いアイテムが出来た。
→周知は出来ていたが、推薦にはつながらなかった。どのようにすれば推薦につながるのかが、今後の課題。

3) 認定者について

(1) 第10回認定会認定者①

- 市営住宅にお住まい。電話がない。
認定者が社協へ来所した際にインタビューが可能な場合、事務局でお話を聞いて登録し認定バッチを進呈する。

(2) 第10回認定会認定者②～④

- 前回、同じ活動者からインタビュー済み。6/21に開催される、いきいき百歳体操時に訪問し、認定者3名に認定バッチを進呈、登録した。

4) 交流会について

- 今年度、あいあいプランの交流会は開催予定なし。
- 部会員が増えない、認定者も増えないのであれば、座談会、交流会をするよりも推薦者が増える議論をした方がいいのではないか？

- QRでの推薦は、ハードルが高い。手書きの推薦書の方が書いてもらいやすい。
- お節介さんが広がっているのは、一緒に活動している仲間を推薦しているから。
- 推薦者を増やすのであれば、団体の人同士の紹介、振興町会、民生、生涯学習、女性会、保護司会、女性が多い部会、等々の団体に周知することも考える。
- ボラセンGO連絡会（7/19）でお互いのグループを紹介してもらおう。団体同士の推薦、お互いが推薦しあうのもよい。ボランティア以外にされている活動についても聞く。
- アプローチの仕方を考える必要がある。認定者24名に、推薦書を送り、推薦してもらおう。また認定バッチを進呈した、認定者さんの反応を知りたい。

5) その他

周知する場所

- 8/31（土）見守り相談室の映画上映会時に、お節介さんの周知をしてもらう
- 10/5（土）区民まつり
- 10/18（金）MAIDOにしよど あいあいプランの周知5分

次回：令和6年10月11日（金） 午後6時30分～